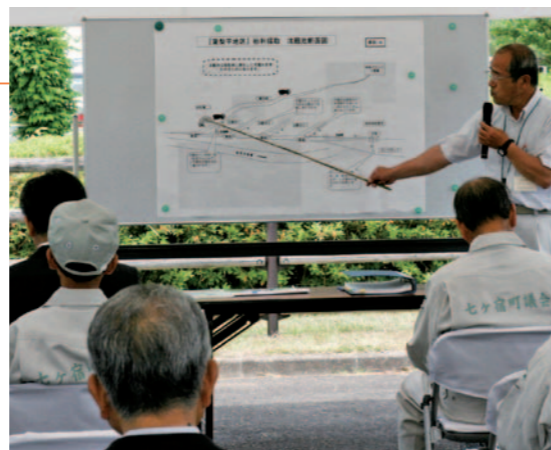


七ヶ宿ダムから川砂採取が始まりました

6月17日、七ヶ宿ダムから川砂を採取する事業が開始されました。七ヶ宿観光開発株式会社が、七ヶ宿大橋上流の貯砂ダムから採取するもので、東日本大震災の復興事業で不足している生コンクリートに使用する川砂として供給されます。当日は、関係者による開始式が現地で開催されました。今回の事業化で建設骨材の安定供給が図られ、震災復興に貢献するものと大きな期待が寄せられています。



川砂採取の仕組み説明の様子



銃器及び花火による追い払いの様子

有害鳥獣追い払いパトロールが始まりました

ニホンザルやイノシシ、ツキノワグマ等による鳥獣被害から農作物を守るため、6月3日より農地の巡回パトロールを開始しました。地元有害鳥獣駆除隊の宍戸清志さん、松田勝利さんと雇用創出事業により採用された飯沢俊章さん、小関勝伸さん、永倉俊男さんの5名が11月まで巡回を行いますので、皆さんの農作物被害状況や、鳥獣の出没等の情報提供をよろしくお願いいたします。

●お問い合わせ 産業振興課農林係 ☎37-2113 (担当：山田)

東北福祉大学千年塾始動

5月25日、干蒲地区で東北福祉大学生約40名と、大学から農業学習指導教員に委嘱された町民10名が参加して、七ヶ宿源流米「やまのしずく」の田植えが行われました。東北福祉大学と七ヶ宿町は、昨年11月に「地域共創協定」を締結し、干蒲地区での田植え作業が活動のスタートとなりました。田植えには、梅津町長や村上議長も訪れて、大学の活動に歓迎の意を表しました。初めての田植えに戸惑う学生も時間とともに要領をえて、上手に作業をこなしていました。「やまのしずく」は、6月中旬には32cmと順調に生育し、初夏の風になびいています。今後は、除草、稲刈りと作業が続き、収穫された米は、大学の関連施設や食堂で提供される予定です。

地元で雇用された4名のスタッフ（実習補助教員）は、稲作のほか大学が所有する茂ヶ沢地区の森林整備等にも従事しており、過疎、高齢化に悩む本町の大きな応援団として期待されます。



関小学校児童の田植えの様子

関小学校・湯原小学校で田植え体験！

5月31日、松原のほ場で関小学校4、5、6年児童が田植えを行いました。今年の田植えは前日まで悪天候が続き、なかなか田植えを行う機会に恵まれませんでした。当日は見事な快晴となり、講師の三森さんらに教わりながら、泥だらけになって苗を植えていました。また、6月3日には旧湯原保育所隣のほ場で、講師の梅津賢一さんらに教わりながら湯原小学校児童と関保育所の子どもたちが一緒に田植えを行いました。子どもたちは慣れた手つきで田植えを行い、今年も終始笑い声の絶えない賑やかな田植えとなりました。



関保育所児童の田植えの様子



湯原小学校児童の田植えの様子

七ヶ宿ダム湖畔クリーン作戦実施！

6月3日、仙南・仙塩地域17市町の水がめである七ヶ宿ダムの水質保全を図るため、仙南市町水道事業連絡協議会主催のクリーン作戦が行われました。今年には93名の水道関係者が集まり清掃活動を行いました。昨年に比べ、もやせるゴミは約10kg減少したものの、もやせないゴミ・資源ゴミは約40kgの増と2倍以上増加していることがわかりました。



2013 南蔵王夏山開き開催

5月26日、白石市、七ヶ宿町、両市町観光協会主催で国定公園蔵王連峰の素晴らしさを満喫することを目的とした「平成25年度南蔵王夏山開き」が開催されました。当日は県内外から36名の参加者が集まり、安全祈願祭を行ったあと、南蔵王登山口をスタートして刈田岳までのおよそ12kmを歩きました。ゴールも間近という所にある芝草平付近にはまだまだ雪が残っており、「これならまだスキーも楽しめそうだね！」という参加者からの声も上がっていました。